

自らのDX 「SAP(基幹システム)のクラウド化」

国内初の SAP S/4HANA Cloud 導入を わずか6ヶ月で実現



NTT-ATは、先進的なクラウドサービスの活用、社内システム改革など、自らのDXによる業務効率化を積極的に推進しています。その一環として、基幹システムのクラウド化によって、業務プロセスの標準化と効率化による生産性向上、コンプライアンス対応の強化、システムのシンプル化にともなう保守効率の改善などを実現しました。

背景

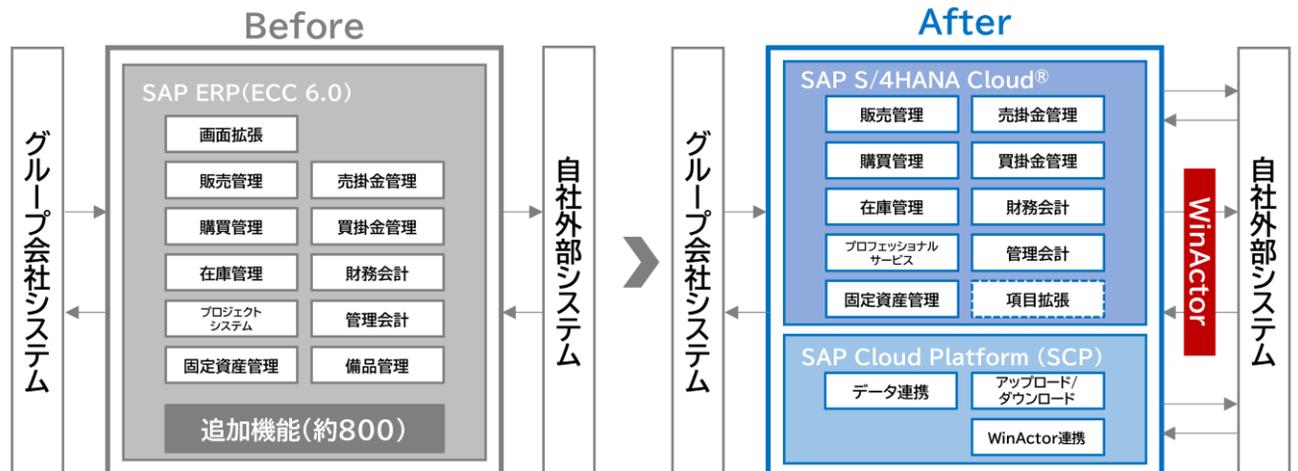
- ✓ 全社最適のDXを支える新たな基盤の構築
- ✓ DX推進を阻害する約800本のアドオン
- ✓ 「2025年の崖」への対応

導入後

- 急速な変化に対応するDX基盤の整備
- 業務標準化によるアドオンからの脱却
- 最新機能の活用による、管理・運用を中心とした成果

導入のポイント

- ① 業務プロセスを標準化し、アドオン依存の基幹システムから脱却
部分最適化から、全体最適化へシフト！



完全クラウド化に伴い「Fit to Standard」に基づいた社内業務プロセス改革(全体最適化)も同時に実施し、パブリッククラウドサービス(SAP S/4HANA Cloud)にあわせた業務プロセスの標準化を行いました。その結果、旧システム(SAP ERP)で約800あったアドオンは0となり、複雑かつブラックボックス化した基幹システム維持の問題を解消できました。

② WinActorをフル活用し、アドオン0を実現



「Fit to Standard」では、どうしても実現できない業務プロセスが発生します。NTT-ATでは、帳票関連、システム間連携、一括登録・出力、データ移行などにWinActorを活用することで、アドオン0を実現しました。これにより、追加システム開発コストを抑えた短期間での完全移行が実現しました。

③ WinActorで、ミスなくたった4日でデータ移行を実現、手動のデータ移行を回避



旧システムからSAP S/4HANA Cloudへシステム移行する際、SAP S/4HANA Cloudの標準移行ツールで移行できない既存データについては、移行を諦めるか、手動でデータ移行するかの選択に迫られました。手動でのデータ移行は数ヶ月の期間がかかり、リリース遅延だけでなく入力ミスも懸念されます。そこで、WinActorで移行シナリオを作成し、データ移行を実施した結果、一切のミスなくわずか4日で完全移行を完了できました。

自らのDXをお客さまへ～NTT-ATはSAP社のパートナーとして、お客さまと伴走します～

NTT-ATは、SAP社による認定パートナープログラム「Partner Edge」において、SAPプラットフォームやSAPテクノロジーを活用したソリューションを開発する「Build」の「Silver Partner」として認定されています。また、SAP S/4HANA Cloud導入後、各種SaaSと連携し、業務効率化、データ活用の強化、CX/EXの向上、テレワーク推進など全社的なDX推進に取り組んでいます。



SAPプロジェクトは、専門的な知識を持つSIベンダーにお任せすると安心ですが、NTT-ATは、周辺システムとの連携やさらなるデータ活用など、お客さま自身で対応する課題について、**自社での導入・運用経験をもつパートナーとして、伴走型で支援**します。

お問い合わせ

「DX支援ソリューション」ページのフォームより、お問い合わせください。

ホーム
ページ

<https://www.ntt-at.co.jp/product/dx-sol/>



※記載された会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。
※本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。※カタログ記載内容 2024年9月現在